

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 17	
企画名	プライマリ・ケア医のための小児在宅医療～入門編～
日時	2016年6月11日(土) 17:00～18:30
会場	第13会場 (台東区民会館 9階 ホール(2))
企画責任者	島崎亮司 (地域医療振興協会 シティタワー診療所)
定員	40名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>もしあなたが務める診療所に小児在宅医療の依頼がきたら、引き受けますか？それとも断りますか？小児在宅医療というとプライマリ・ケア医にとってなじみのうすい分野です。経験したことがない病気が多く、専門的な医療技術が必要と感じ敬遠しがちな分野ではないでしょうか？しかし小児の救命率が上がり、人工呼吸器を装着したまま自宅退院される患儿が多くなる現在、小児科医で在宅を担う人材が不足しています。その時代においてプライマリ・ケア医にも小児在宅医療に対する役割や需要が予想以上にあります。</p> <p>またその重要性を理解しても、いざ自分が小児在宅医療を実践するには乗り越えないといけない壁がいくつも存在します。</p> <p>そこで今回のワークショップでは</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 小児在宅医療の現状と意義を知る(2) プライマリ・ケア医が小児在宅医療にどのような役割を果たせるか考える(3) プライマリ・ケア医が小児在宅医療に対して感じている壁と乗り越え方を学ぶ <p>を目標として、小児在宅医療の入門編として学ぶ機会にしましょう。</p> <p>【概要】</p> <p>(対象者) 小児在宅医療に興味のある方。小児在宅医療未経験・小児科研修未経験の方も大歓迎。</p> <p>(ワークショップの内容)</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 小児科医・行政からみた小児在宅医療の現状を知ろう(2) プライマリ・ケア医が小児在宅医療で求められる役割を考えよう(3) プライマリ・ケア医が小児在宅医療を始める際の課題を考えよう(4) 岐阜県における小児在宅医療の取り組みから学ぼう。 <p>岐阜県では県庁、医師会、病院、看護協会が一体となり小児在宅医療の充実化を図っています。この全国でも先駆けとなる取り組みをされている小児科医、医療ソーシャルワーカー、岐阜県庁の職員と、小児在宅医療の中心的役割を担う埼玉医大総合医療センター小児科医に講師として参加いただき、それぞれの立場から小児在宅医療の現状と課題、そしてプライマリ・ケア医への熱いメッセージをいただきます。</p>	